

平成28年9月12日

▼タイトル

本物の音楽にふれよう！ ～マリンバ演奏者を招いて～

▼概要

- ・少人数の学校では、本物の芸術に触れたり本物の芸術を鑑賞したりする機会に出会うことはなかなか難しく、児童に「本物を」「生で」味わう経験をさせたいと感じることがある。そこで、滋賀県立文化産業交流会館による次世代文化芸術推進事業「アートのじかん」に応募したところ、パーカッション、マリンバ奏者の宮本妥子（やすこ）氏と後藤ゆり子氏に来ていただけることになった。
- ・宮本妥子氏は平成16、17年度の「地域創造公共ホール音楽活性化事業」の登録アーティストに選ばれ、全国でコンサートやアウトリーチを展開している奏者である。滋賀県立文化産業交流会館に所属する他の演奏家のアドバイザーとしても活躍されている。
- ・後藤ゆり子氏は「夢と希望と笑い！」のあるコンサート創りをめざし、マリンバアンサンブルを結成された。音楽の可能性と楽しさを追求し、落語、口笛、バンジョー、演歌など、様々なコラボレーションでも全国各地での演奏活動を行っておられる。

次世代文化芸術推進事業「アートのじかん」

「ホールでの鑑賞講演ではなく、子どもが「いつも通っている教室」にアーティストを派遣し、子どもと芸術体験をするもの。参加者となる子どもは、後ろの客に気兼ねする必要なく、身を乗り出したり、うっとりしたり、一緒に参加しようと手を伸ばしたり、声をだしてのびのびと体験できる。子どもがアーティストとコミュニケーションを重ね関心を高める工夫として、小さな空間（子どもがいつも授業を受けている教室など）、子どもが集中できる時間（授業時間）内、少人数（子どもがいつも授業を受けているクラス）で実施する。」（パンフレットから引用）

主催：滋賀県、（公財）滋賀県文化振興事業団

企画・制作：（公財）滋賀県文化振興事業団

共催：滋賀県教育委員会

助成：文化庁

▼日時 平成28年11月29日（火）
5校時 6年生 6校時 5年生

▼場所 本校音楽室

▼内 容

前半は宮本氏、後藤氏のマリンバ演奏を聴く。

(音の響きを感じながら、演奏を間近に見られるよう場の工夫をする。)

後半はボディパーカッション「ボディパdeGO」を両氏と楽しむ。

(児童は事前に楽譜をもらい、学級で練習している。)

▼対 象 本校5年生18名、6年生12名

▼問い合わせ先

○所 属：高島市立マキノ南小学校

○担 当：5年担任古本美由紀、6年担任伊藤真喜子、滋賀県立文化産業交流会館田上氏

○電 話 番 号：0740(27)0013

○ファックス：0740(27)0505